

平成 30 年度国地方創生推進交付金活用事業の事業評価について

1 国地方創生推進交付金とは

地方公共団体が地方版総合戦略を策定し、戦略に位置づけられた優良施策等の実施に対し、国が支援するもの。

掛川市においては、平成 30 年度に地方創生推進交付金（補助率 1/2）を活用して 3 事業を実施した。

掛川市地域創生戦略会議において、市の地域創生政策の先駆的取組として、平成 30 年度実績に基づいた事業評価をしていただく。

2 交付金活用事業の事業評価について

(1) 「事業評価書」について

担当部署が、実績や指標の実績値、今後の方向性などを内部評価したもの。

P D C A サイクルにより、事業の効果分析や見直しを行い、より効果的な施策展開を図っていく。

(2) 地域創生戦略会議における評価について

担当部署が作成した「事業評価書」を基に、内部評価の妥当性について議論いただき、新たな視点による改善提案などをいただく。

議論いただいた内容を基に、今年度以降の事業改善や評価方法の改善を行っていく。

3 掛川市の国地方創生推進交付金事業一覧

No	事業名	事業費（交付金 充当額）単位：円	事業開始 年月	事業完了年 月	所管課
1	競争力のあるオリーブ産地創り 事業	5,857,141 (2,928,570)	H30.4	H31.3	農林課
2	森の力で地域創生事業	13,000,000 (6,500,000)	H30.4	H31.3	生涯学習協働推 進課
3	日本一から世界一へ！掛川茶輸 出戦略推進事業	9,710,368 (4,855,184)	H30.4	H31.3	お茶振興課
合 計		28,567,509 (14,283,754)			

平成30年度国地方創生推進交付金活用事業の事業評価書

No	事業名	所管課
1	競争力のあるオリーブ産地創り事業	農林課

1 事業内容

位置 付け	重点施策名	掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする					
	重点プロジェクト名	明日を拓く農 農業ビジネスの推進					
事業目的		農家所得の増加を目指すとともに、耕作放棄地の解消や農業への新規参入、6次産業化の推進に向けた、新たなブランドを構築するためオリーブの産地化を図る。					
事業内容		1 モデル栽培による圃場拡大 2 生産者への栽培指導、加工・販売技術指導 3 土壌改良、作物連関支援 4 園芸療法への活用研究 5 障害者雇用の研究 6 市場調査 7 オリーブの機能性に関する検証 8 搾油機導入支援 9 商品化研究・開発					
連携主体		栽培農家、農協、日本オリーブ協会					
事業展開		区分	H28	H29	H30	R1	R2
		計画	<ul style="list-style-type: none"> モデル栽培による圃場拡大 栽培指導 	<ul style="list-style-type: none"> モデル栽培による圃場拡大 栽培、加工、販売技術指導 土壌改良、作物転換支援 園芸療法活用研究 障害者雇用研究 市場調査 オリーブ機能性検証 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培、加工、販売技術指導 土壌改良、作物転換支援 搾油機導入支援 商品化研究・開発 障害者雇用の研究 消費等の啓蒙 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> A：達成率100%以上 B：達成率75%以上 C：達成度50%以上 D：達成度50%未満 </div>	
		実績	<ul style="list-style-type: none"> モデル栽培による圃場拡大及び栽培指導 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培技術指導 土壌改良、作物転換支援 搾油機導入支援 商品化研究・開発 消費地化への啓蒙 栽培拡大のための研修会、講演会等開催 	—		
H30事業実績		<ul style="list-style-type: none"> ほ場整備補助金 14件 1,720,741円 搾油機設置補助金 1件 1,836,000円(市内栽培者のオリーブを委託で搾油することを条件(書面として明文化)し、補助。市内の搾油環境の整備に寄与。) ほ場巡回時の栽培指導者育成(両農協職員対象) 栽培者講習会、剪定講習会の実施 健康講演会、オリーブ講演会の実施 料理人等を対象としたオリーブオイルテイasting講座開催 やる気塾長等とのオリーブ先進地視察 女性農業者のつどいとオリーブ先進地視察 女性農業者のつどいとオリーブ料理教室の開催 国、県へのオリーブ支援の要望 小豆島、九州におけるオリーブ先進地視察(関係強化) 特例子会社、B型施設との連携検討 搾り滓利用検討 					

2 重要業績評価指標(KPI)

指標名	初期値	区分	H28	H29	H30	R1	R2
オリーブ栽培面積(純増)	-	目標	2ha	7ha	11ha		
		実績	1.5ha	4.3ha	5.8ha	-	
【参考】 オリーブ栽培面積(累計)	-	目標	2ha	9ha	20ha	A：達成率100%以上 B：達成率75%以上 C：達成度50%以上	
		実績	1.5ha	5.8ha	11.6ha		
			B	C	C		
			B	C	C		

3 事業評価と今後の方向性について

指標のH30実績値評価	H30年度から苗木配付は実施せず、補助金対応となり、オリーブへの意識が高い方が植付をする状況となる中、5.8haの純増は成果と言える。
指標実績値を踏まえた H30事業の効果分析・評価 ＜CHECK＞	未知の農産物である中、5.8haの伸びは今後期待できるものである。今後の更なるPRと加工、販売といった先行きが見える形を表すことが必要である。また、栽培希望者が栽培に対して不安になることのないようにしっかりした指導体制、フォロー体制が築かれることが必要である。
今後の事業の方向性 ＜ACTION＞	農協を含め、栽培指導体制を確立し、栽培について不安の無い状況を作っていく。また、加工、販売に段階がシフトしていく中、搾油技術研修、オリーブオイルソムリエ資格取得などの加工技術の向上を支援するとともに、販売については、互産互生機構等と連携し、その筋道を確立していく。

平成30年度国地方創生推進交付金活用事業の事業評価書

No	事業名	所管課
2	森の力で地域創生事業	生涯学習協働推進課

1 事業内容

位置 付け	重点施策名	掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする					
	重点プロジェクト名	しごとを生み出すイノベーション支援					
事業目的		本市の面積の約43%を占める森林を地域資源として活用し、森林と市民生活や経済活動の新たな関係を構築しながら、ひとづくり、しごととの創出、暮らしづくりという三位一体の森林発の新機軸を創出することで、掛川市地域創生総合戦略に位置づけた本市の持続的な発展を可能とする人口目標値「2025年の人口115,000人」、「生産年齢人口56.9%以上」の達成を目指す。					
事業内容		森林発イノベーションのモデル事例を創り出し、市全体で山村の価値を見直し、新たな価値を生み出す。 ①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)					
連携主体		地区まちづくり協議会、NPO法人、大学					
事業展開 A：達成率100%以上 B：達成率75%以上 C：達成率50%以上 D：達成率50%未満		区分	H28	H29	H30	R1	R2
		計画	—	①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)	①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)	①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)	
		実績	—	①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)	①未来を創る人材・起業家の育成プラン(ひとづくり) ②森林発イノベーション創出プラン(しごとづくり、新たな価値づくり) ③起業家・定住者などU・I・Jターン者呼び込み環境づくり(暮らしづくり)	—	
H30事業実績		・時ノ寿の森クラブ施設内テナント型利用による木のおもちゃ事業の起業 ・農家民宿「B&B森の駅」の開業 7月から3月 136人利用 ・材木のブランディング「時ノ寿認証材」を開発 内装材として1件納入 ・時ノ寿認証材を使用した「六角テーブル」の開発 会議用デスクとして1件納入 ・ナショナルトラストによる森林保全活動への参加者数は平成29年度中に土地所有者100人に全員から承諾をいただくことができた ・未来を創る人材や起業家の育成数は、静岡県立大ゼミ生や森のようちえん園児など115人が森まで来て実習などを行った ・新規事業の収益額は1,976千円で、農家民宿・時ノ寿認証材・六角テーブル・実習生受入によるものである					

2 重要業績評価指標(KPI)

指標名	初期値	区分	H28	H29	H30	R 1	R 2
森林をフィールドとした新ビジネスの創業数	—	目標		1件	2件	2件	
		実績		2件	4件		
				A	A		
ナショナルトラストによる森林保全活動への参加者(団体)数	—	目標		10件	20件	30件	
		実績		100件	前年度達成済		
				A			
未来を創る人材・起業家の育成数	—	目標		50人	100人	150人	
		実績		144人	115人		
				A	A		
当該事業により生み出した新規事業の事業収益額	—	目標		500千円	500千円	1,000千円	
		実績		2,370千円	1,976千円		
				A	A		

3 事業評価と今後の方向性について

指標のH30実績値評価	目標値を大きく上回る期待以上の成果と言える
指標実績値を踏まえたH30事業の効果分析・評価 ＜CHECK＞	<ul style="list-style-type: none"> ・木のおもちゃ事業の起業は、この事業の本旨である地域内起業にたどり着けた好例であると言える ・時ノ寿認証材と六角テーブルは、ブランディングとともにこれからの可能性を感じる事業となった ・農家民宿事業のノウハウは、この地域のトップランナーとして後進に伝えられるものとして残り、新規に参入してくる方をサポートできる体制となる
今後の事業の方向性 ＜ACTION＞	<p>すべての事業が、森の良さとそこから生み出される商品のクオリティの高さに同意をいただくことで成り立つものであるため、その背景やストーリーを認知していただく活動がなにより重要である。</p> <p>これらを広めつつ、賛同を得られるよう活動する。</p>

平成30年度国地方創生推進交付金活用事業の事業評価書

No	事業名	所管課
3	日本一から世界一へ！掛川茶輸出戦略推進事業	お茶振興課

1 事業内容

位置付け	重点施策名	掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする					
	重点プロジェクト名	明日を拓く農 農業ビジネスの推進					
事業目的		茶を中心として発展してきた掛川市には、茶の仕上げ加工、卸、小売を手がける茶商工業者40件や、製茶機械メーカーや茶関連産業が集積し、農業のみにとどまらず商工業まで含め、茶業は本市の重要な産業である。掛川が世界に誇れるお茶のまちとなるため、これらの産地の強みを活かした掛川茶の輸出により、農業所得、商工業所得を向上させ地域産業の発展、農業後継者の育成、雇用の質を向上させる。					
事業内容		<p>価格競争に巻き込まれる商品でなく、掛川茶の強みである高い品質や、深蒸し製法に代表される生産へのこだわり、茶草場農法が培った生物多様性による持続的な農法等をブランディングし、市内茶商工業者や生産者の利益を生む輸出を拡大する。</p> <p>①掛川茶ブランドを海外市場で確立していくための効果的情報発信を実施 ②有機栽培の拡大や、各国残留農薬規制に対する製品対応支援を実施 ③海外進出を目指す茶商工業者に対する商流構築(海外出展等)支援を実施</p>					
連携主体		JA・生産者・茶商工業者					
事業展開		区分	H28	H29	H30	R1	R2
		計画	-	掛川茶輸出戦略推進業務 海外食品展示会出展業務	掛川茶輸出戦略推進業務 海外食品展示会出展業務	掛川茶輸出戦略推進業務 海外食品展示会出展業務	
		実績	-	掛川茶輸出戦略推進業務 海外食品展示会出展業務	掛川茶輸出戦略推進業務 海外食品展示会出展業務	-	
<p>A：達成率100%以上 B：達成率75%以上 C：達成度50%以上 D：達成度50%未満</p>			-	A	A		
H30事業実績		<p>1 掛川茶輸出戦略推進業務 (1) 海外輸出推進補助事業(①海外出展②輸出商談会(国内開催)③有機栽培④貿易セミナー受講⑤残留農薬検査費) 補助実績 計24件 合計補助額 3,846千円 (2) 情報発信事業 ・ 海外茶業インフルエンサーの産地招聘 ・ 海外インフルエンサーによる現地での普及活動、著書への掲載 ・ 掛川茶ウェブサイトからの情報発信(世界31ヶ国からのアクセス) ・ 「掛川茶」海外商標出願(中国、台湾) ・ 掛川茶プロモーションムービーの制作及び活用</p> <p>2 海外食品展示会出展業務(掛川市農協連携) Natural Products Expo West2019(米アナハイム)掛川茶PRブース出展 【出展内容】 市内産有機栽培茶と世界農業遺産東山茶の呈茶とPR及び見積オファー対応 【出展後の展開】 ・ カリフォルニア大学内カフェ商材調達バイヤー来日 ・ 健康食品メーカーからの正式受注(初回50kgの出荷) ・ 有機食品輸入業者からの見積オファー</p>					

2 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	初期値	区分	H28	H29	H30	R 1	R 2	
掛川茶の輸出量	-	目標		20t	100t	160t		
		実績		24.25t	88.38t			
掛川茶の輸出額	-	目標		60百万円	300百万円	480百万円		
		実績		39.12百万円	257.83百万円			
世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の中核である「粟ヶ岳」来訪者数	-	目標		1,000人	2,000人	3,000人		
		実績		5,000人	1,500人			
	-	目標	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> A：達成率100%以上 B：達成率75%以上 C：達成度50%以上 D：達成度50%未満 </div>					
		実績						

3 事業評価と今後の方向性について

指標のH30実績値評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出量、額ともに達成率100%には達しなかったが、堅調に輸出拡大が進んでいる。 ・ 粟ヶ岳来訪者数は、山頂ビジターセンターリニューアル工事に伴う閉店期間が影響した。
指標実績値を踏まえたH30事業の効果分析・評価 ＜CHECK＞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度に策定した輸出戦略書にもとづき、施策を実行 ・ 補助事業については前年度の約2倍の補助金額だが、輸出量は3倍の増 →補助活用後の自立拡大(自走)にスムーズに繋げることができている。 ・ 海外インフルエンサーを活用した普及活動により、書物への掲載やSNSからの情報拡散に繋がり、効果的な情報発信に繋がっている。(情報の輸出) ・ 海外出展について、前年度まではPRや見積依頼及びサンプル送付程度の実績だったが、今年度は商用のまとまった量を受注するまでに至り、輸出に繋げている。 ・ 今後は、上述のように繋げた海外への流通パイプの数を一層増やして、将来の拡販に備えた体制を整えていけるかが課題となる。
今後の事業の方向性 ＜ACTION＞	<p>台湾向けなどの、単価が安い秋冬番茶が需要の大半となる国については、具体的措置は講じない。掛川茶がもつ品質の高さと健康効能を引き続きPRすることで、国内ですでに構築されているブランド価値を維持して海外進出を図り、あくまでも一番茶の輸出にこだわった販路拡大を目指した施策を展開していく。(米国、欧州、香港等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①茶商の海外出展に対する補助事業継続 ②インフルエンサーによる情報発信及びインフルエンサー網の拡大 ③海外における地域団体商標登録によるブランド保護 ④有機栽培推進事業の継続